

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
情報リテラシー		BNNBS1E13	10210	1前	1(30)	必修
担当教員	山田 哲也					
概要	情報通信技術(ICT)は、著しい進歩を遂げ、現代社会に深く浸透している。大学での学修・研究、医療現場、日常生活、それぞれの場面はICTに支えられ、また我々もICTを使いこなしていくことが求められている。この授業では、情報を活用する能力とともに、情報活用行動を行う際のネットワーク・リテラシーや情報を評価する能力を養う。Ipad上で、ディスカッションを行ったり、クリッカーを用いた双方向型授業形態を取り入れる。					
学修目標	現代社会において、情報通信技術(ICT)が果たす役割を理解するとともに、大学生活や日常生活において、情報通信技術を適切に活用できる力を養うために、次の項目を目標とする。 1) 現代社会において、ICTが活用されている場面を説明できるとともに、活用できる。 2) プライバシーへの配慮、個人情報の保護、著作権の尊重に必要な知識を身につける。 3) ICTを利用する上でのトラブルとその回避方法を、それぞれ説明できる。 4) 調査、分析した内容を、コンピューターやiPadでまとめて表現できる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		
1	オリエンテーション 現代社会と通信技術			テキスト、まえがきを事前に読むこと。		
2	情報社会が抱える問題			情報社会の問題点を予習する。 講義内容を確認するノート整理を行う。		
3	インターネットの歴史としくみ			テキスト該当箇所を事前に熟読する。 講義内容を確認する復習を行う。		
4	インターネット・セキュリティ			テキスト該当箇所を事前に熟読する。 講義内容を確認する復習を行う。		
5	情報社会の倫理			テキスト該当箇所を事前に熟読する。 講義内容を確認する復習を行う。		
6	情報アクセシビリティ			情報アクセシビリティの意味を調べ講義に臨む。 講義内容をテキストで確認する復習を行う。		
7	メディアリテラシー			メディアリテラシーの意味を調べ講義に臨む。講義内容をテキストで確認する復習を行う。		
8	クリティカル思考			クリティカル思考の意味を調べ講義に臨む。講義内容をテキストで確認する復習を行う。		
9	情報とは何か			高等学校「情報」で学んだことを整理し講義に臨む。講義内容確認する復習を行う。		
10	情報の表現			高等学校「情報」で学んだことを整理し講義に臨む。講義内容確認する復習を行う。		
11	コンピューターの基本構成			基本構成を挙げたうえで講義に臨む。 講義内容を確認する復習を行う		
12	コンピュータの動作			コンピュータの代表的動作を挙げたうえで講義に臨む。講義内容を確認する復習を行う		
13	ソフトウェアとプログラミング			テキスト該当箇所を事前に熟読する。 講義内容を確認する復習を行う。		
14	ネットワークにおける資源共有			テキスト該当箇所を事前に熟読する。 講義内容を確認する復習を行う。		
15	情報活用能力と情報社会の未来			情報社会のあるべき姿を考え講義に臨む。 講義内容を確認する復習を行う。		
使用テキスト	山川修,徳野淳子,田中武之,菊沢正裕,情報リテラシー(第3版)ーメディアを手中におさめる基礎能力,森北出版,2013					
参考図書	高橋慈子,原田隆史,佐藤翔,岡部晋典,情報倫理ーネット時代のソーシャル・リテラシー,技術評論社,2014					
成績評価基準	確認テスト20%,レポート50%,取り組む態度30%					